

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書： （ ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 完 〕					
Unit 1 What can happen in one second? 【知識及び技能】 受け身／不定詞／動名詞を理解させる。 疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手に伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 学校新聞の記事などを通して、1秒間に世界で起こっていることについて学ぶ。 〔言語材料〕 受け身／不定詞／動名詞 〔言語活動〕 1秒間にどのように世界が変化しているかを説明する。 〔言語の働き〕 聞き直す／回答する ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 受け身／不定詞／動名詞を理解できる。 疑問詞やつなぎ言葉について、プレゼンテーションのスタイルに対応した適切な用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報伝達型プレゼンテーションの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。	○	○	○	11
Unit 2 What do superstitions mean to you? 【知識及び技能】 助動詞＋受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 条件節と帰結節を用いて、要点書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識して要点や具体例を書かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して要点や具体例を書こうとする。	・指導事項 〔題材内容〕 機内誌の記事などを通して、さまざまな国や地域で信じられている迷信について学ぶ。 〔言語材料〕 助動詞＋受け身／現在完了進行形 〔言語活動〕 迷信についての自分の価値観を述べる。 〔言語の働き〕 驚く／興味や関心を表す ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 助動詞＋受け身、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 条件節と帰結節を用いて、要点書いたり、具体例を提示したりしながら物事を描写する方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手を意識して要点や具体例を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 読み手を意識して要点や具体例を書こうとしている。	○	○	○	11
1 学期 定期考査		○	○		○		○	○	○	1

2 学期	Speaking Review Task (Unit 1, Unit 2) 【知識及び技能】 上記Unit1,2と同様 【思考力、判断力、表現力等】 Unit 1, Unit 2で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 Unit 1, Unit 2で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合おうとさせる。	・指導事項 上記Unit1,2と同様 ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 上記Unit1,2と同様 【思考力、判断力、表現力等】 Unit 1, Unit 2で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合える。 【学びに向かう力、人間性等】 Unit 1, Unit 2で学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	Unit 3 How can we promote sustainability? 【知識及び技能】 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 フォーマルな文体でEメールを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 フォーマルなEメールを書く場面で、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書く場面で、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書こうとさせる。	・指導事項 Eメールのやり取りなどを通して、ゼロ・ウェイスト政策について学ぶ。 〔言語材料〕 分詞の形容詞用法／関係代名詞 〔言語活動〕 世界中で人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを説明する。 〔言語の働き〕 誘う／断る ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞の形容詞用法や関係代名詞（省略の形を含む）を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 フォーマルな文体でEメールを書き、目的を伝えたり質問をしたりする方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 フォーマルなEメールを書く場面で、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 フォーマルなEメールを書く場面で、読み手を意識して目的を伝えたり質問内容を書こうとしている。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	Unit 4 What can we learn from native Hawaiians? 【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりするなど、スタイルに対応した適切な方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 博物館のパンフレットなどを通して、ハワイ語やハワイ文化の歴史について学ぶ。 〔言語材料〕 現在完了形の受け身／過去完了形 〔言語活動〕 自分にとって大切な言葉や文化について述べる。 〔言語の働き〕 迷いを伝える／アドバイスする ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○		○	【知識及び技能】 現在完了形の受け身、過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 事実と意見を分けたり、ポイントを絞って伝えたりするなど、スタイルに対応した適切な方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。	○	○	○	11
2 学期	Unit 5 Why do people tell each other stories? 【知識及び技能】 SVOC [分詞]、関係副詞how、助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとする。	・指導事項 〔題材内容〕 ウェブの記事などを通して、自分が体験したことを聞き手に語る際の秘訣を学ぶ。 〔言語材料〕 SVOC [分詞]／関係副詞how／助動詞の過去形 〔言語活動〕 互いに話を伝え合う理由を述べる。 〔言語の働き〕 心配事を伝える／援助を申し出る ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○		○	【知識及び技能】 SVOC [分詞]、関係副詞how、助動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 体験談を伝えるために、適切な表現や方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチの場面で、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話して伝えようとしている。	○	○	○	11
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1

3 学 期	Unit 6 What are the qualities of a good leader? 【知識及び技能】 分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとさせる。	・指導事項 〔題材内容〕 オンライン百科事典の伝記などを通して、優れたリーダーシップをもつ人物の経歴を学ぶ。 〔言語材料〕 分詞構文／関係副詞where 〔when/why〕 〔言語活動〕 優れたリーダーが備えている資質を説明する。 〔言語の働き〕 返答する／相づちを打つ ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 リーダーシップに関連した語いや表現を用いるなどして、人物の略歴を紹介する適切な方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ある人物を紹介するために、読み手を意識しながら簡潔かつ正確に紹介文を書こうとしている。	○	○	○	12
	Speaking Review Task (Unit 5, Unit 6) 【知識及び技能】 上記Unit5,6と同様 【思考力、判断力、表現力等】 Unit 5, Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 Unit 5, Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝えようとする。	・指導事項 上記Unit5,6と同様 ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 上記Unit5,6と同様 【思考力、判断力、表現力等】 Unit 5, Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 Unit 5, Unit 6で学習した内容を基に、事実や自分の考え、経験などを自立的に話して伝え合おうとしている。	○	○	○	4
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1
	Unit 7 Where will you live in the future? 【知識及び技能】 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 場所に関連した語いや表現を用いるなどして、住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書かせる。 【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとさせる。	・指導事項 〔題材内容〕 英字新聞の記事などを通して、今住んでいる場所を選んだ理由やそこでの暮らしの魅力について学ぶ。 〔言語材料〕 原形不定詞／仮定法過去完了／過去完了進行形 〔言語活動〕 人々がどのような理由で住む場所を決めているのかを説明する。 〔言語の働き〕 反論する／同意する ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 場所に関連した語いや表現を用いるなどして、住みたい場所についてのエッセイを書く適切な方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主張を展開するために、読み手を意識しながら首尾一貫性のある原稿を書こうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	Unit 8 How do cultures and traditions affect teens' lives? 【知識及び技能】 関係代名詞what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解させる。 プレゼンテーションの場で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、その概要を伝える適切な表現や方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの場で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えさせる。	・指導事項 〔題材内容〕 ウェブの記事などを通して、世界中のさまざまな成人の儀式について学ぶ。 〔言語材料〕 関係代名詞what／関係代名詞の非制限用法 〔言語活動〕 日常生活について、外国のティーンエイジャーと自分との類似点や相違点を説明する。 〔言語の働き〕 習慣を表す／共感する ・教科書、ワーク ・一人1台端末の活用 ・小テスト、パフォーマンステスト	○	○	○	○	【知識及び技能】 関係代名詞what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 プレゼンテーションの場で、外国の高校生の日常生活について、自分の生活との類似点や相違点に触れながら、その概要を伝える適切な表現や方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの場で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの場で、メモを活用して、その概要をわかりやすく話して伝えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査		○	○		○		○	○	○	1

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ ENRICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅱ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【言語材料】 助動詞＋完了形／不定詞の意味上の主語を理解する。 【言語活動】 絶滅の危機に瀕している動物の特徴や生態などについて説明する。 【言語の働き】 勧める／理解や納得を示す。	Unit 1 What can we do to prevent endemic species from becoming extinct? 【題材内容】 若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。	【知】 助動詞＋完了形、不定詞の意味上の主語を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】 絶滅危機種について、特徴などの重要な点を簡潔に整理して、聞き手に伝えている。 【主】 聞き手にわかりやすく詳細を話して伝えようとしている。	○	○	○	14
	【言語材料】 受け身の不定詞／助動詞doによる強調を理解する。 【言語活動】 ある論題について、主張と根拠を明確にししながら、ディベートを行う。 【言語の働き】 勧誘する／断る。	Unit 2 Which sports can really be called sports? 【題材内容】 年々人気を増すeスポーツの特徴を理解し、伝統的なスポーツとの違いや、スポーツをスポーツたらしめている条件とは何かを考える。	【知】 受け身の不定詞、助動詞doによる強調を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】 主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合っている。 【主】 主張と根拠を伝え合ったりしながら、自分の考えを即興で話して、詳細を伝え合おうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						
	【言語材料】 先行詞を含む関係副詞／否定語の倒置を理解する。 【言語活動】 レストランのレビューや、ほかのレビューへのコメントを書く。 【言語の働き】 提案する／説得する／妥協する。	Unit 3 How do we choose what we eat? 【題材内容】 多様な食習慣の背景にある文化や、地球環境への影響について知る。「食べるものを選択する」という視点から、レストランのレビューやコメントも取り上げる。	【知】 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書いている。 【主】 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとしている。	○	○	○	14
	【言語材料】 強調構文／関係副詞の非制限用法を理解する。 【言語活動】 有益だと思う発明品について説明する。 【言語の働き】 想像したことを伝える／相手の考えを聞く。	Unit 4 How have inventions changed history? 【題材内容】 ペニシリンの発明に至る経緯と、後世に与えた影響について理解する。さらに、現代のさまざまな発明品について、その意義を考える。	【知】 先行詞を含む関係副詞、否定語の倒置を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【思】 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書いている。 【主】 情報を伝えたり評価づけしたり、感想を述べたりしながら、事実と意見を区別して、詳細を整理して書こうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						

2 学 期	〔言語材料〕 接続詞＋分詞／完了不定詞を理解する。 〔言語活動〕 「ギャップ・イヤー」への賛成・反対の意見とその理由を説明する。 〔言語の働き〕 希望を伝える	Unit 5 What can we learn from traveling? 〔題材内容〕 若者が旅行をすることの意義と問題点を踏まえて、進学・就職前に長期の休暇をとって見聞を広げる「ギャップ・イヤー」という仕組みへの賛否を考える。	〔知〕 接続詞＋分詞、完了不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 利点と欠点を踏まえたうえで、つなぎ言葉を用いながら、構成を意識して、複数のパラグラフで論理的に書いている。 〔主〕 利点と欠点を踏まえたうえで、つなぎ言葉を用いながら、構成を意識して、複数のパラグラフで論理的に書こうとしている。	○	○	○	14
	〔言語材料〕 部分否定の表現を理解する。 〔言語活動〕 性格が振る舞いに及ぼしている影響について説明する。 〔言語の働き〕 誘いを受け入れる／うまく誘いを断る	Unit 6 How do people's personalities affect their behavior? 〔題材内容〕 内向的な人の特徴や、性格が振る舞いに及ぼす影響について理解する。自分自身やクラスメートの性格の分析を通して、多様性についても考える。	〔知〕 部分否定を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 割合を表したり解釈を付け加えたりして、詳細を簡潔に整理してプレゼンテーションをする。 〔主〕 割合を表したり解釈を付け加えたりして、詳細を簡潔に整理してプレゼンテーションをしようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						
	〔言語材料〕 受け身の進行形／be動詞＋不定詞を理解している。 〔言語活動〕 紙幣に取り上げるべき人物について意見を述べ合う。 〔言語の働き〕 自分について伝える	Unit 7 Who should we celebrate on our money? 〔題材内容〕 日本の新紙幣の顔となる津田梅子や、アメリカの紙幣への掲載が計画されていたハリエット・タブマンについて知り、紙幣に取り上げるべき人物について考える。	〔知〕 受け身の進行形、be動詞＋不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 相手の意見に適切に応じながら、自分の考えを即興で話し、ディスカッションしている。 〔主〕 相手の意見に適切に応じながら、自分の考えを即興で話し、ディスカッションしようとしている。	○	○	○	14
	〔言語材料〕 複合関係副詞を理解している。 〔言語活動〕 あるニュースの真偽について意見を述べ合う。 〔言語の働き〕 話題を発展させる／いきさつを説明する	Unit 8 How can we find out if news is real or fake? 〔題材内容〕 フェイクニュースの歴史を知る。現在のインターネット上のフェイクニュースの見分け方についても学び、あるニュースの真偽を考察する。	〔知〕 複合関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話し、詳細を伝え合っている。 〔主〕 事実と意見を区別しながら、情報や自分の考えを即興で話し、詳細を伝え合おうとしている。	○	○	○	14
	定期考査						
3 学 期	〔言語材料〕 過去の習慣の表現を理解している。 〔言語活動〕 ある仕事を選ぶ理由やその仕事への適性を伝え合う。 〔言語の働き〕 将来したい仕事をたずねる、伝える	Unit 9 What is important when choosing a job? 〔題材内容〕 社会の変化を踏まえながら、今、仕事を選ぶ際に重要なことについて理解する。さらに、ある仕事を選ぶ理由や、その仕事への適性についても考える。	〔知〕 過去の習慣を表す表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 情報や自分の考え、評価を即興で話し、詳細を伝え合っている。 〔主〕 情報や自分の考え、評価を即興で話し、詳細を伝え合おうとしている。	○	○	○	14
	〔言語材料〕 未来進行形／未来完了形を理解している。 〔言語活動〕 ディスカッションを通して考えを深め、効果的にプレゼンテーションする。 〔言語の働き〕 助言を求める、与える。	Unit 10 How can we improve our school? 〔題材内容〕 制服、カリキュラムなどの面から、学校を改善するための提案とそれに対する反論を理解する。最後に、自分たちの学校をよりよくするための提案を考える。	〔知〕 未来進行形、未来完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔思〕 自分の考えを理由とともに、即興で話し、詳細を伝え合っている。 〔主〕 自分の考えを理由とともに、即興で話し、詳細を伝え合おうとしている。	○	○	○	14
							合計
							140

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ 単位数 4 単位

対象学年組 第3学年 1組～ 6組

使用教科書 (Heartening ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ)

教科 外国語 の目標

- 【知識及び技能】
- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	アイデンティティについて扱い、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う。	Lesson1 What Makes Up Your Identity?	・アイデンティティを形成する要素について聞く。 女優のサヘル・ローズさんが、自らのアイデンティティと向き合った経験について読む。 ・自分のアイデンティティについて話し合う。 ・面接試験で自分のアイデンティティについて説明する。 ・自分のアイデンティティについて説明するパラグラフを書く。	○	○	○	10
	未来予想について扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	Lesson2 Predicting Future Technology	・100年後の科学技術の予測について聞く。 ・発明家のニコラ・テスラが、100年前に予測した科学技術について読む。 ・未来の科学技術について話し合う。 ・未来の科学技術で最も重要なものについて自分の意見を伝える。未来の科学技術で最も重要なものについてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	定期考査						
	睡眠について扱い、豊かな情操を培うとともに、健やかな身体を養うことにつなげる。	Lesson3 The Science of Sleep	・睡眠の重要性について聞く。 ・睡眠と記憶の関係性について読む。 ・睡眠の重要性について話し合う。 ・睡眠不足から生じる問題を抱えている友人に、解決策を伝える。 ・睡眠不足によって起きる問題とその解決策についてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	多様性について扱い、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。	Lesson4 Diversity and Inclusion	・町や企業で多様性を促進している事例について聞く。 ・文化的な多様性を促進するために重要なことについて読む。 ・多様性を促進する方法について話し合う。 ・多様性を促進する方法についてスピーチをする。 ・多様性を促進するために最も重要な要素についてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	将来のタンパク源について扱い、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	Lesson5 Protein Crisis	・タンパク源や、それらが将来不足する問題について聞く。 ・タンパク質の供給不足の問題と、それを補うための代替タンパク質について読む。 ・将来のタンパク源について話し合う。 ・将来のタンパク源として最適なものについて家庭科の授業で伝える。 ・将来のタンパク源として最適なものについてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	定期考査						

2 学 期	幸福論について扱い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度などを養う。	Lesson6 Different Types of Happiness	・幸福度を測定するために用いられている要素について聞く。 ・コスタリカ・デンマーク・シンガポールに住む3人にとっての幸せの価値観について読む。 ・自分の幸せにとって何が大切かを話し合う。 ・幸せについての自分の考えを海外の人に伝える。 ・自分の幸せにとって何が大切かについてエッセイを書く。	○	○	○	10
	AIについて扱い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。	Lesson7 Pros and Cons of Utilizing AI	・AI ロボットが授業をすることへの賛否の意見を聞く。 ・AI を活用したデータ分析の事例と、AI を活用する際の倫理的な問題について読む。 ・AI の良い点と悪い点について話し合う。 ・ニュースのリポーターとして、AI の良い点と悪い点について伝える。 ・社会生活においてどの程度AIに頼るべきかについてパラグラフを書く。	○	○	○	10
	定期考査						
	伝統工芸品について扱い、文化を尊重し、それを育んできた環境を大切にすることを養う。	Lesson8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect	・和紙の特長やそれを作る職人の夢について聞く。 ・金継ぎの特長や金継ぎから学べる人生の教訓について読む。 ・日本の伝統工芸品について話し合う。 ・日本の伝統工芸品の特長を海外の人に説明する。 ・日本の伝統工芸品の特長を説明するパラグラフを書く。	○	○	○	10
	人前で話し方について扱い、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う。	Lesson9 Getting Your Message Across	・人前で話す際の言いよどみについて否定的な意見を聞く。 ・人前で話す際の言いよどみについて肯定的な意見を読む。 ・言いよどみの是非について話し合う。 ・スピーチをする予定の友人に、言いよどみについてのアドバイス伝える。 ・人前で話す際に言いよどみをすべて取り除くべきかについてエッセイを書く。	○	○	○	10
	医療倫理について扱い、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	Lesson10 Medical Ethics During a Pandemic	・感染症がファッションに与えた影響や、パンデミックの予防策について聞く。 ・医師のエドワード・ジェンナーが天然痘ワクチンを開発した際の医療倫理について読む。 ・ジェンナーの行為の是非を話し合う。 ・有効性が確立されていない医療を試すことについて、自分の意見を伝える。 ・パンデミックの際に、有効性が確立されていない医療を試すべきかについてエッセイを書く。	○	○	○	10
	定期考査						
3 学 期	豊かな情操と道徳心を培う。	[Reading] Three Questions	人生哲学に関する問答を扱った物語を読む。	○	○	○	20
	日常的な話題について題材から必要な情報を捉える力を養う。	Real Life English 1～4	・モノローグや対話（インタビュー）を聞き取る。 ・時系列で書かれた記事を読み取る。 ・聞き取った内容をもとに、スモールトークをする。 ・読み取った内容をもとに、コメント（投稿）を書く。	○	○	○	20
							合計 140

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語会話

教科 外国語 科目 英語会話 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 自由選択I群

使用教科書 ()

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くし
と読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに
【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国
語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体
的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語会話 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いて、話すこと（やり取り・発表）を するために、言語材料と言語活動とを効果的に 関連付け、実際のコミュニケーションにおいて 活用できる技能を身に付けることができる。	英語を用いて、話すこと（やり取り・発表）を するために、目的や場面、状況などに応じて、 日常的な話題や社会的な話題について、英語で 情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や 書き手の意図などを的確に理解したり、これら を活用して適切に表現したり伝え合ったりする ことができる	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞 き手、読み手、話し手、書き手に配慮しなが ら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニ ケーションを図ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	自分のことを相手に伝える。	・場面に応じた自己紹介 ・スピーキングボードゲーム ・他者紹介 ・スピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	4
	雑談をする。	・挨拶と反応 ・質問する ・話題に関する言葉 ・スキット	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	4
	何かを薦める。	・興味に関する表現 ・薦める表現 ・納得させる話し方 ・ロールプレイ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	社会問題を語る。	・英字新聞を読む ・興味のある話題を深堀する ・プレゼン	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	議論する。	・自分の主張をする ・相手の主張を聞き、内容をつか む ・ディスカッション	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6

2 学 期	友人を作る。	・自己紹介 ・自国の文化の紹介 ・他国について知る ・オンライン交流（オーストラリアン）	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	4
	旅行をする。	・電話対応 ・予約をする ・注文する ・スキット	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	4
	交渉する。	・要求する ・受け入れる ・断る ・ロールプレイ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	社会問題を語る。	・英語のニュースを観る ・興味のある話題を深堀する ・プレゼン	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	討論する。	・自分の主張をする ・相手の主張を聞き、内容をつかむ ・論理的に話す ・ディベート	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
3 学 期	自分の経験を語る。	・時系列の表現 ・過去の表現 ・高校生活を振り返る ・スピーチ	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	社会問題を語る。	・英字新聞を読む ・ディスカッション ・ディベート	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
	将来を語る。	・未来の表現 ・ひきつける話し方 ・将来の夢 ・プレゼン	授業中の取り組み姿勢 パフォーマンステスト 提出物・成果物	○	○	○	6
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和 6 年度 教科 外国語 科目 英語総合演習

教 科： 外国語 科 目： 英語総合演習

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ Cuttin Edge Green 本冊+Navi Book（エミル出版） ）

教科 外国語 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語総合演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多様な英文を読み進め、入試で必要とされる基礎的な英語力を身につける 語彙力を高める	英語で自分の言いたいことを表現する力を養う 学んだ文法事項を活用して正しい英作文をすることができる	毎回行う小テストに取り組む 提出物を毎回欠かさず提出する 応用的な課題に対しても臆せず挑戦する力を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる。 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う。	Chapter 1~5	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		15
	定期考査			○	○	○	
	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる。 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う。	Chapter 6~10	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		15
	定期考査			○	○	○	
2 学 期	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる。 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う。	Chapter 11~15	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		15
	多様な英文に接し読解力を養うとともに背景知識を身につけ社会的な視野を広げる。 大学入試に頻出の文法項目を学び大学入試で問われる英文を正確に読み問題に答える力を養う。	Chapter 16~18 長文問題演習	単語小テスト 提出物の提出状況 応用問題への取り組み姿勢	○	○		15
3 学 期	個別指導						10
							合計 70

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 検定英語

教 科： 英語 科 目： 検定英語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（英検総合トレーニング2級、7日間完成英検2級予想問題ドリル）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 検定英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることができる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、話題に関する自身の考えを適切に表現したりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	文法チェック①②、筆記1①、筆記2①A・B、筆記3A①、筆記4①、Listening第1部①、スピーキング練習	＜知＞語彙、文法、会話表現を理解している。 ＜思＞正確に読んだり、聞いたりしたり、考えを具体的に表現したりしている。 ＜主＞積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	8
	定期考査						
	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	文法チェック③④、筆記3B①、筆記3C①、筆記1②、筆記2②A・B、筆記3A②、B②、C②、筆記4②、Listening第1部②、スピーキング練習	＜知＞語彙、文法、会話表現を理解している。 ＜思＞正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 ＜主＞積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	8
	定期考査						
2 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	文法チェック⑤、筆記1③、Day1筆記2A、Day1筆記2B、Day1筆記3A、Day1筆記3B、Day1筆記3C、Listening第2部①、スピーキング練習	＜知＞語彙、文法、会話表現を理解している。 ＜思＞正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 ＜主＞積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	10
	定期考査						
	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	Day1筆記1、Day2筆記1、Day2筆記2A、Day2筆記2B、Day2筆記3A、Day2筆記3B、Day2筆記3C、Listening第2部②、スピーキング練習	＜知＞語彙、文法、会話表現を理解している。 ＜思＞正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 ＜主＞積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	12
	定期考査						
3 学 期	英文を正確に読んだり、聞いたりするとともに、習った表現を用いて自身の考えを伝える。	Day4筆記1、Day4筆記2A、Day4筆記2B、Day4筆記3A、Day4筆記3B、Day4筆記3C、Day6筆記1、Day6筆記2A、Day6筆記2B、Day6筆記3A、Day6筆記3B、Day6筆記3C、Listening Day1スピーキング練習	＜知＞語彙、文法、会話表現を理解している。 ＜思＞正確に読んだり聞いたりしたり、意見を具体的に表現したりしている。 ＜主＞積極的に相手と話そうとしたり、英文を書いたりしている。	○	○	○	12
	定期考査						

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教 科： 外国語 科 目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ be smartEnglish Logic and Expression Ⅰ ）

教科 外国語 の目標： 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	5文型、3 things about yourself、 Lesson 1 【題材】自己紹介 【文法】・現在形、現在進行形 Lesson 2 【題材】休日・週末 【文法】・過去形・過去進行形について学んで理解する。・過去形・過去進行形を用いて文を作る。 Lesson 3 【題材】予定 【文法】・未来を表す表現・未来進行形	＜知＞文法を理解している。 ＜思＞文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 ＜主＞文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	Lesson 4 【題材】旅行 【文法】・現在完了形・現在完了進行形 Lesson 5 【題材】学習・課外活動 【文法】・過去完了形・過去完了進行形・未来完了形 Lesson 6 題材】食べ物 【文法】・能力・可能・推量・許可を表す助動詞 Lesson 7 【題材】学校生活 【文法】・義務・確信・推測・後悔を表す助動詞 Lesson 8 【題材】日常生活 【文	＜知＞文法を理解している。 ＜思＞文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 ＜主＞文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	Lesson 9 【題材】交通問題 【文法】・受動態 Lesson 10 【題材】将来 【文法】・不定詞の名詞用法 Lesson 11 【題材】健康 【文法】・不定詞の形容詞・副詞用法 Lesson 12 【題材】新しい製品 【文法】・使役的な意味で使う不定詞・原形不定詞・不定詞（進行形・受動態・完了形） Lesson 13 【題材】趣味・関心 【文法】・動名詞	＜知＞文法を理解している。 ＜思＞文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 ＜主＞文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	12
	定期考査	定期考査					1
	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	Lesson 14 【題材】自然 【文法】分詞の形容詞的用法 Lesson 15 【題材】トラブル・事故 【文法】分詞構文を含む、様々な形の分詞 Lesson 16 【題材】技術・発明 【文法】・主格・目的格・所有格の関係代名詞 Lesson 17 【題材】成果・業績 【文法】・非限定用法の関係代名詞、what Lesson 18 題材】都市・町 【文法】・関係副詞・複合関係詞	＜知＞文法を理解している。 ＜思＞文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 ＜主＞文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。	○	○	○	15
	定期考査	定期考査					

3 学 期	文法の形と意味を理解し、コミュニケーションに活用することができる。	Lesson 19【題材】生活環境【文法】 ・原級・比較級 Lesson 20【題材】社会問題【文法】 ・最上級の表現 Lesson 21【題材】願い事【文法】 ・仮定法過去・仮定法過去完了 Lesson 22【題材】異文化【文法】 ・接続詞・接続副詞 Lesson 23【題材】意見【文法】 様々なthat節	<知>文法を理解している。 <思>文法を使って正しく文を読んだり書いたりすることができる。 <主>文法を使って積極的に話そうとしたり、暗唱したりしている。				15
	定期考査	定期考査					1
							合計
							70

翔陽 高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：英語 科目：論理表現Ⅱ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

使用教科書：（EARTHRISEⅡ Advanced）

教科：英語 目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理表現Ⅱ 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 (や)	話 (発)	書					
1 学 期	「文化」をテーマに、さまざまな主語の形に注意して、話したり書いたりして伝える。	Part 1 Part 1 Lesson 1 Have you ever experienced any cultural differences? 様々な主語の形 doing【動名詞】 / It is ～ to do / 主語が長い場合/etc.	○	(○)	○	○	○	【知】さまざまな主語の形の用法・意味を理解している。 【思】日本や海外の文化や習慣について、クラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主】習慣の違いについて論理的に書いたり話したりしている。	○	○	○	4
	「買い物」をテーマに、さまざまな動詞の形に注意して、話したり書いたりして伝える。	Part 1 Lesson 2 Where do you usually buy things? 様々な動詞の形 can / should / don't have to / have [had] been doing / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】さまざまな動詞の形(動詞の時制[現在完了進行形・過去完了進行形]や助動詞)の用法・意味を理解している。 【思】自分の買ったものについて、わかりやすく話したりレビューを書いて伝えている。 【主】読み手によく理解してもらえるように、自分の買ったものについて、書いて伝えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査								○	○	○	1
	「国際交流、ボランティア」をテーマに、名詞のはたらきをする表現に注意して、話したり書いたりして伝える。	Part 1 Lesson 3 International events and cultural exchange 名詞のはたらきをする表現 to do【不定詞】 / doing【動名詞】 / that / whether / what+S+V / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】名詞のはたらきをする表現(to不定詞や接続詞that, whether, 動名詞, 関係代名詞what)の用法など)の用法・意味を理解している。 【思】学校の文化の日に行う活動やボランティア活動について自分の考えを論理的に話したり書いたりしている。 【主】ボランティア活動について自分の考えを論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○	4
	「日常生活、将来」をテーマに、形容詞のはたらきをする表現に注意して、話したり書いたりして伝える。	Part 1 Lesson 4 How have you been lately? 形容詞のはたらきをする表現 who, that【関係代名詞】 / doing, done【分詞】 / to do【不定詞】 / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】形容詞のはたらきをする表現(分詞, 関係代名詞, 不定詞, 関係代名詞, 不定詞, 同格のof)の用法・意味を理解している。 【思】自分の性格や将来の希望について論理的に話したり書いたりしている。 【主】自分の性格や将来の希望について論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			(○)			○		○	○	○	1

2 学 期	「エンターテインメント」をテーマに、副詞のはたらきをする表現に注意して、話したり書いたりして伝える。	Part 1 Lesson 5 How do you watch movies and things? 副詞のはたらきをする表現 前置詞句, to不定詞, 接続詞, 分詞構文, 文修飾の副詞	○	(○)	○	○	○	【知】前置詞句, to不定詞, 接続詞, 分詞構文, 文修飾の副詞の用法・意味を理解している。 【思】動画や映画を見ること、自分の好きな番組などについて論理的に話したり書いたりしている。 【主】動画や映画を見ること、自分の好きな番組などについて論理的に話したり書こうとしている。	○				4
	「社会・生活」をテーマに、感情を表す表現を用いて話したり書いたりして伝える。	Part 2 Lesson 1 Making life better 感情を表す表現 感謝・心配・不満・願望など It's nice of you to... / I'm really sorry... / My complaint is that... / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】感情を表す表現（感謝・心配・不満・願望など）の用法・意味を理解している。 【思】自分の住む地域や学校について論理的に話したり書いたりしている。 【主】自分の住む地域や学校について論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	「食習慣」をテーマに、「助言する・忠告する」、「必要・義務を表す」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。	Part2 Lesson 2 Good eating habits 助言する・忠告する／必要・義務を表す You should... / Why don't you...? / ought to... / need to... / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】助言する・忠告する・必要・義務を表す用法・意味を理解している。 【思】自分の食事や日本の食品ロスについて論理的に話したり書いたりしている。 【主】自分の食事や日本の食品ロスについて論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		5
	「旅行」をテーマに、「勧誘する・提案する」、「依頼する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。	Part 2 Lesson 3 Visiting a new place 「勧誘する・提案する」、「依頼する」表現 Why don't we...? / How about doing...? / Could you...? / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】勧誘する・提案する、依頼する、の用法・意味を理解している。 【思】参加したいツアーについて話したり、友人の国について尋ねるメールを書くなど論理的に話したり書いたりしている。 【主】参加したいツアーについて話したり、友人の国について尋ねるメールを書くなど論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	定期考査			(○)			○			○	○	○	1
	「暮らす場所」をテーマに、「賛成する・反対する」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。	Part 2 Lesson 4 Where would you like to live in the future? I agree with... / That's not for me. / It may be true..., but... / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】賛成する・反対する表現の用法・意味を理解している。 【思】住む場所について論理的に話したり書いたりしている。 【主】住む場所論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		5
	「選挙」をテーマに、「意見を述べる」、「希望を述べる」表現を用いて、話したり書いたりして伝える。	Part2 Lesson 5 Which candidate is the right person? It seems to me that... / In my opinion, / I would like to... / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】意見を述べる用法・意味を理解している。 【思】選挙の候補者や立候補することなどについて論理的に話したり書いたりしている。 【主】選挙の候補者や立候補することについて論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	「外国語学習、語学学校の宣伝」をテーマに、パラグラフの構造を意識して表現する。	Part 3 Lesson 1 パラグラフの構成	○	(○)	○	○	○	【知】パラグラフの構成を理解している。 【思】データについて論理的に話したり宣伝文を書いたりしている。 【主】データについて論理的に話したり宣伝文を	○	○	○		4
	「発明・発見」をテーマに、パラグラフの展開を意識して、〈例示・列挙〉の支持文を用いて表現する。	Part 3 Lesson 2 例示・列挙 for example / such as / in addition to / moreover / as well as /etc.	○	(○)	○	○	○	【知】賛成する・反対する表現の用法・意味を理解している。 【思】住む場所について論理的に話したり書いたりしている。 【主】住む場所論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	定期考査									○	○	○	4
3 学 期	「スマートフォンの使い方」をテーマに、パラグラフの展開を意識して、〈比較・対照〉の支持文を用いて表現する。	Part 3 Lesson 3 比較・対照 similarly / as / unlike / while / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】比較・対照のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】スマートフォンの使い方について論理的に話したり書いたりしている。 【主】スマートフォンの使い方について論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	「宿泊先の条件」をテーマに、パラグラフの展開を意識して、〈原因・結果〉の支持文を用いて表現する。	Part 3 Lesson 4 原因・結果 because / so / that's why ~ /etc.	○	(○)	○	○	○	【知】原因・結果のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】宿泊先の候補について論理的に話したり書いたりしている。 【主】宿泊先の候補について論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	「勉強の仕方」をテーマに、パラグラフの展開を意識して、〈時間的順序・手順〉の支持文を用いて表現する。	Part 3 Lesson 5 時間的順序・手順 first / next / finally / then / after that / etc.	○	(○)	○	○	○	【知】時間的順序・手順のパラグラフの展開パターンを理解している。 【思】どのようにテストのための準備をするかについて論理的に話したり書いたりしている。 【主】どのようにテストのための準備をするかについて論理的に話したり書こうとしている。	○	○	○		4
	定期考査		○	(○)	○	○	○			○	○	○	1
													合 計

年間授業計画

翔陽 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 英語 科目 論理・表現Ⅲ

教科 英語 科目 論理・表現Ⅲ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（ be clear English Logic and Expression Ⅲ ）

教科 英語 の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・動詞や助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 1 A City Worth Visiting	＜知＞動詞や助動詞について理解している。 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 ＜思＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 ＜主＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・動詞や助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 2 Our Hometowns	＜知＞動詞や助動詞について理解している。 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 ＜思＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 ＜主＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
	・動詞や助動詞を適切に使うことができる。 ・私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、英語でまとめることができる。	Lesson 3 What Makes a City Attractive?	＜知＞動詞や助動詞について理解している。 動詞や助動詞を用いて、私たちが暮らす社会について、伝え合う技能を身につけている。 ＜思＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか考え、論理的に詳しく話すことができる。 ＜主＞私たちが暮らす社会について、どうしたらよりよくできるか、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 4 How Do You Spend Your Time?	<知>形容詞や副詞について理解している。形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 5 Trying Something New	<知>形容詞や副詞について理解している。形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
・形容詞や副詞を適切に使うことができる。 ・余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 6 The Art of Translation	<知>形容詞や副詞について理解している。形容詞や副詞を用いて、余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、伝え合う技能を身につけている。 <思>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>余暇の過ごし方、スポーツや映画などのトピックについて、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
・名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 7 Combatting Climate Change	<知>名詞のあとに説明を加えることについて理解している。名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
・名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 8 Future Energy Sources	<知>名詞のあとに説明を加えることについて理解している。名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4

2 学 期	・名詞のあとに説明を加えることができる。 ・気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、英語でまとめることができる。	Lesson 9 Discussing the Environment	<知>名詞のあとに説明を加えることについて理解している。 名詞のあとに説明を加えて、気候、環境、エネルギーなどの課題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>気候、環境、エネルギーなどの課題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>気候、環境、エネルギーなどの課題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
	・不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 10 Globalization and Immigration	<知>不定詞と動名詞について理解している。 不定詞と動名詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	4
	・不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 11 What is Fair Trade?	<知>不定詞と動名詞について理解している。 不定詞と動名詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
	・不定詞と動名詞を適切に使うことができる。 ・世界中の人たちが持続可能な発展をするためにどうしたらいいかについて考え、英語でまとめることができる。	Lesson 12 Helping to Fight Poverty	<知>不定詞と動名詞について理解している。 不定詞と動名詞を用いて、持続可能な発展に関する話題について、伝え合う技能を身につけている。 <思>持続可能な発展に関する話題について考え、論理的に詳しく話すことができる。 <主>持続可能な発展に関する話題について、論理的に詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	○	○	○	5
3 学 期	定期考査			○	○	○	1
		個別指導					4
		個別指導					4
		個別指導					4